

ADVENTURE

2019年6月期第2四半期
決算説明資料

株式会社アドベンチャー

(証券コード：6030)

1. 経営方針
2. 2019年6月期の方針と目標
3. M&A等
4. 第2四半期業績概要
5. 今後の展開
6. 業績予想
7. 会社概要
8. 参考情報

1. 経営方針

経営理念に基づいた中長期の方針

ADVENTURE

01 短期的な利益を追求しない。

02 長期的な成長を優先する。

03 広告費の拡大を継続する。






04 テクノロジーに対する投資を継続する。

05 グローバルでの成長を目指す。

06 増収増益を継続する。

2. 2019年6月期の方針と目標

ADVENTURE

方針	利益よりも成長を優先				
目標	アプリ 1,000万 インストール	連結取扱高 1,000億円	エンジニア数 倍増	広告費 75億円	M&A 1社以上
2019 2Q	 884万DL突破 (6月末700万DL)	 593億円	 8名増員 (6月末21名)	 39億円 (※1)	 M&A1社 事業譲渡1件 (※2)

※1 連結広告費

※2 2Qにギャラリーレアの株式を取得、EDISTをenishから事業譲受 (3Qにはラド観光の株式を取得)

3. M&A等

① ギャラリーレアについて



【事業概要】

- ・ブランド品や時計等を扱っているリユース事業
- ・顧客は来店が多く、顧客の30%程度が外国人（外国人比率は上昇傾向）
- ・インバウンド人数が増えるにつれ、売上が増加傾向

【今後の展開】

- ・オンライン広告を代理店経由から自社に切り替え、広告費用対効率を改善中
- ・高額商品の買取を重点的に行ってきたが、今後は低単価商品の買取にも注力
- ・ABテストやUIの改善を行い、買取点数を増やす
- ・自社ECでの販売に注力する

【目標等】

- ・前期（2018/2月期）売上高実績 約75億円
- ・今期（2019/2月期）売上高計画 約150億円
- ・将来的なIPOを検討

会社名 : (株)ギャラリーレア

設立 : 2004/3

所在地 : 大阪府大阪市

資本金 : 98百万円

※2018/11/30に株式譲渡により80.95%の株式を取得

3. M&A等

② EDISTについて



【事業概要】

- ・ファッションレンタルサービス事業
- ・自社ブランド
- ・サブスクリプションモデル
- ・平均月額単価7,800円
- ・顧客層 20～40代の女性
- ・継続率（4か月：75%、13か月：27%）

【今後の展開】

- ・3月から本格的にプロモーションを開始予定
- ・2～3年間は利益度外視でマーケティングを行う

【目標等】

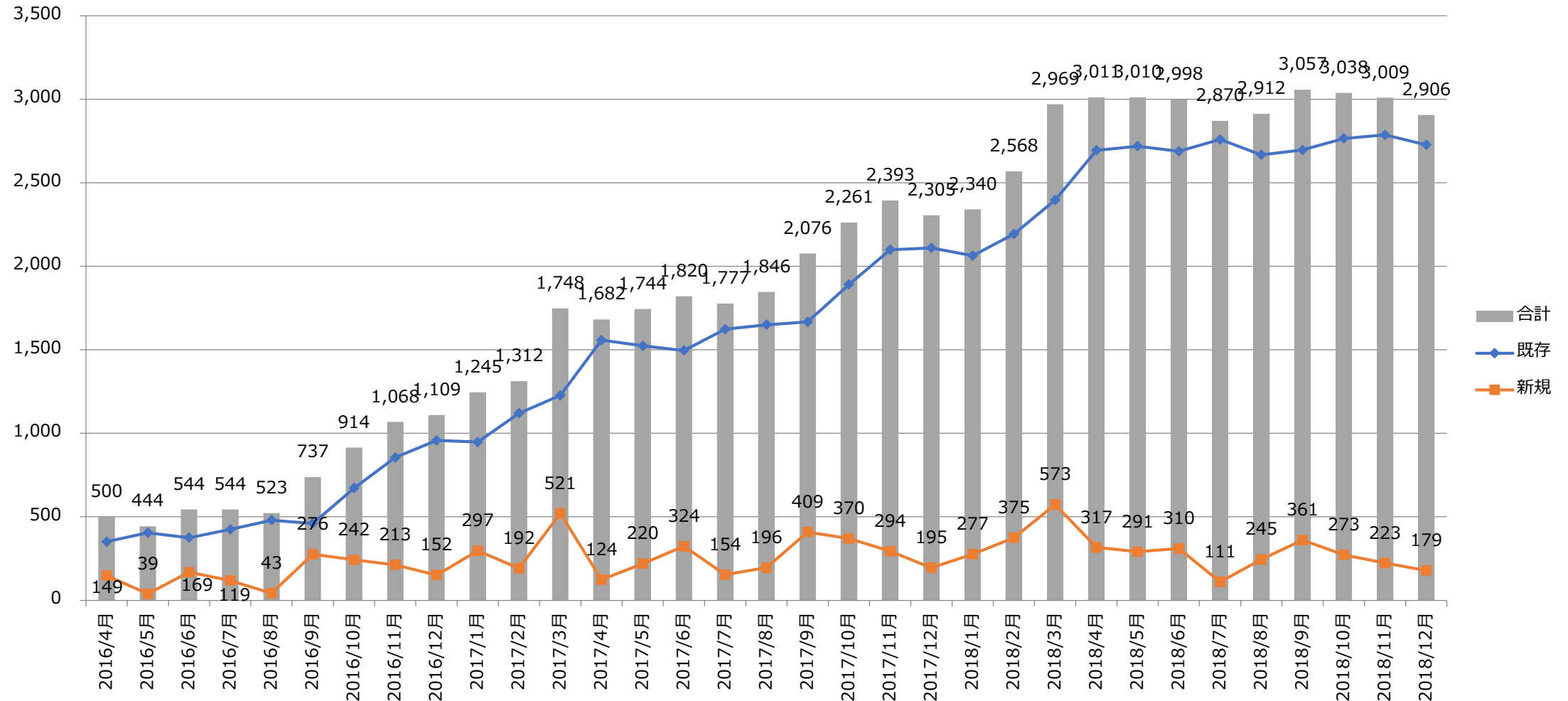
- ・月間売上高約2,000万円⇒6月目標売上高3,000万円
- ・来期（2020/6月期）目標 売上高 5億円
- ・再来期（2021/6月期）目標 売上高10億円

サービス名称 : EDIST.CLOSET
サービス開始 : 2016/1/12
公式サイト : <https://closet.edist.jp/>
※2018/11/30に(株)enishから事業譲渡により取得
※2019/1/16に(株)EDISTを設立

3. M&A等

③ EDIST会員数について

有料会員数推移



※ 無料会員 18,500人

4. 第2四半期業績概要

ADVENTURE

① 2Qサマリー（連結PL）

前年同期比で増収（収益601%）

（単位：百万円）

	2018 (※1) 2Q	2019 2Q	増減（率）
キャンセル後取扱高（旅行） (※2)	14,837	19,637	4,799 (132%)
収益	1,942	11,681	9,738 (601%)
営業総利益	1,920	2,989	1,068 (156%)
販管費及び一般管理費	1,751	2,907	1,155 (166%)
うち広告宣伝費	1,290	1,886	596 (146%)
営業利益	168	82	▲86 (49%)
四半期利益	99	42	▲57 (43%)
親会社の所有者に帰属する四半期利益	101	42	▲58 (42%)

(※1) 前期をIFRS基準にして比較

(※2) コスミックは除く、レンタカー/ホテル/フェリーは手数料のみ取扱高として計上

4. 第2四半期業績概要

ADVENTURE

② 2Q累計サマリー（連結PL）

前年同期比で大幅増益（収益514%、営業利益175%）

(※1)

(単位：百万円)

	2018 通期	2018 2Q累計（進捗）	2019 2Q累計	増減（率）
キャンセル後取扱高（旅行） (※2)	71,219	32,151 (45%)	43,523	11,371 (135%)
収益	18,788	4,092 (22%)	21,022	16,929 (514%)
営業総利益	9,124	4,070 (45%)	6,415	2,344 (158%)
販管費及び一般管理費	8,550	3,758 (44%)	5,870	2,112 (156%)
うち広告宣伝費	6,177	2,847 (46%)	3,987	1,140 (140%)
営業利益	525	311 (59%)	545	233 (175%)
四半期利益	337	186 (55%)	332	145 (178%)
親会社の所有者に帰属する四半期利益	341	188 (55%)	333	144 (176%)

(※1) 前期をIFRS基準にして比較

(※2) コスミックは除く、レンタカー/ホテル/フェリーは手数料のみ取扱高として計上

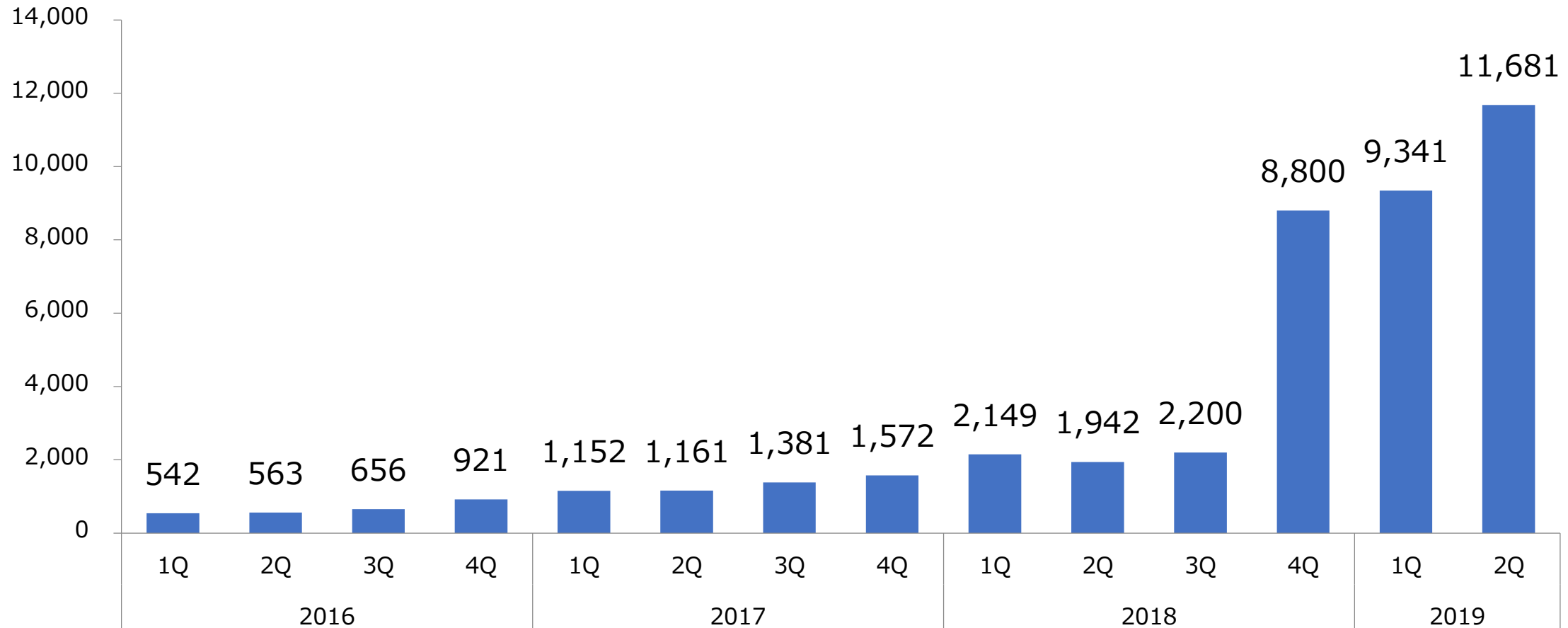
4. 第2四半期業績概要

ADVENTURE

③ 収益四半期推移

収益は順調に拡大

(百万円)

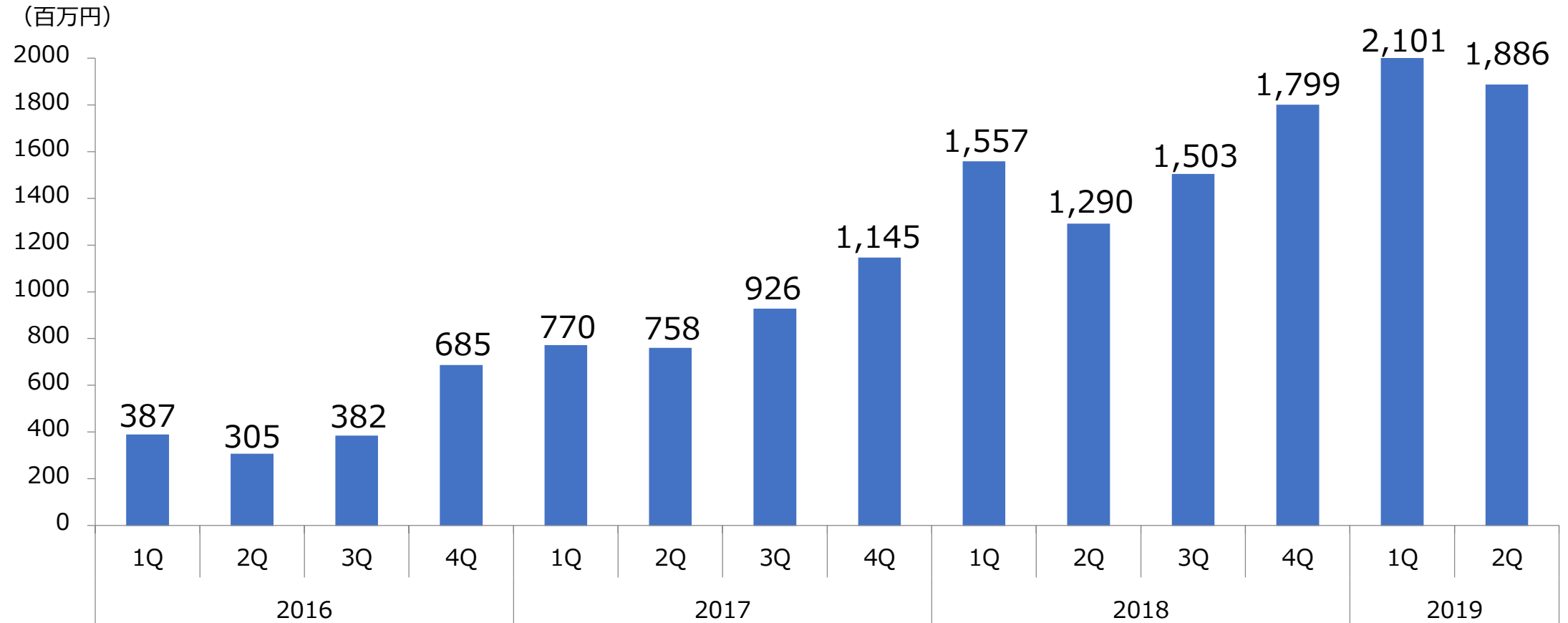


※今期1QからIFRS基準で表示

4. 第2四半期業績概要

④ 広告宣伝費四半期推移

2Q累計の広告費39億円（前期比140%）、TVCMの開始
⇒ 下半期もTVCMを積極的に展開



※今期1QからIFRS基準で表示

4. 第2四半期業績概要

ADVENTURE

⑤ 会社別業績

(単位：百万円)

	2018 4Q累計		2019 2Q累計	
	取扱高	収益	取扱高	収益
アドベンチャーG	71,479	8,662	43,756	5,448
コスミックG	9,710	9,710	13,792	13,792
wundou	414	414	360	360
ギャラリーレア	—	—	1,421	1,421
合計	81,604	18,788	59,331	21,022

※アドベンチャーG…アドベンチャー、ビッグハートトラベルエージェンシー、AppAge、スグヤク、TET

コスミックG…コスミック流通産業、コスミックGCシステム

wundou…wundou

ギャラリーレア…ギャラリーレア

※IFRS基準で比較

4. 第2四半期業績概要

ADVENTURE

⑥ 2Qサマリー（連結BS）

のれんは22.44億円（前期末比970百万円増）

（単位：百万円）

	2018 4Q	2019 2Q	増減（率）
流動資産	8,089	12,042	3,953(149%)
現金および現金同等物	2,373	3,619	1,245(152%)
非流動資産	2,678	3,975	1,297(148%)
のれん	1,273	2,244	970(176%)
資産合計	10,768	16,017	5,249(149%)
流動負債	6,462	11,094	4,632(172%)
非流動負債	2,881	3,204	323(111%)
負債合計	9,343	14,298	4,955(153%)
資本合計	1,425	1,718	293(121%)

※IFRS基準で表示

5. 今後の展開

① M&Aについて

【ターゲット領域】

- ・ 旅行関連を最優先
 - ： 国内・海外のOTA
 - ： 国内・海外の店舗型旅行会社
 - ： ツアー会社等
- ・ skyticketとのシナジーを最重要視
 - ： リユース関連事業、シェアリングエコノミー関連事業も視野に入れる

【投資回収期間】

- ・ PMI後のEV/EBITDA倍率5倍を目安

5. 今後の展開

① 資本政策について

- 広告費を抑制した場合、潜在的な利益は数十億円と推測されるため、株価は割安水準だと考えている。
- 自己資本比率や純資産の状況を踏まえて、今後は株価やマーケットの状況、M&A、IRの状況を総合的に考えて、エクイティファイナンスも検討していきたい。
- 現時点においては、基本的に来期以降、利益、営業キャッシュフローが増加し、財務健全性を向上することができると考えている。

5. 今後の展開

① skyticket（旅行関連事業）について

【これまでの実績】

- ・ 前期までは国内線の成長がメインで、今期は国際線とレンタカーの成長率が高い。

【今後の展開】

- ・ 来期も国際線とレンタカーの成長率は比較的高く継続すると考えているが、加えて、ホテルとDP（航空券＋ホテル）の成長が見込まれる。（特にDPは収益性が高い。）
- ・ 来期以降は子会社のツアーを含め、他社商品販売を積極的に行う。
- ・ オープンプラットフォーム化へ。
- ・ 旅行商品のマーケットプレイスへ。

5. 今後の展開

② 今後の旅行商品の展開について

【今期中にリリースしたいもの】

- ・ 高速バス
- ・ DP（航空券＋ホテル）
- ・ ホテル（自社仕入、複数サプライヤーとのAPI接続）
- ・ 外貨両替
- ・ 空港送迎

【来期以降リリースするもの】

- ・ オプションツアー（自社仕入、サプライヤーとのAPI接続）
- ・ パッケージツアー（自社仕入、サプライヤーとのAPI接続）

5. 今後の展開

③ AI、パーソナライズ

【広告のROI最適化】

- ・ 現時点では来期の広告予算を100億円と考えており、来期中に広告のROI最適化の為にAIアルゴリズムの開発を行う予定
- ・ 現在はデータ解析を行い、CPIやCPAの運用からLTVを優先した広告出稿にシフト中
- ・ 100億円の広告費に対して費用対効果が10~30%程度単年度で改善できると予想

【UI/UXのパーソナライズ】

- ・ 現在はエリア別のIPによる検索窓のデフォルト設定やクッキー情報を優先したデフォルト設定等を実施中
- ・ 今後は航空券検索後の検索結果のパーソナライズ等を検討

6. 業績予想

① 今期の業績予想

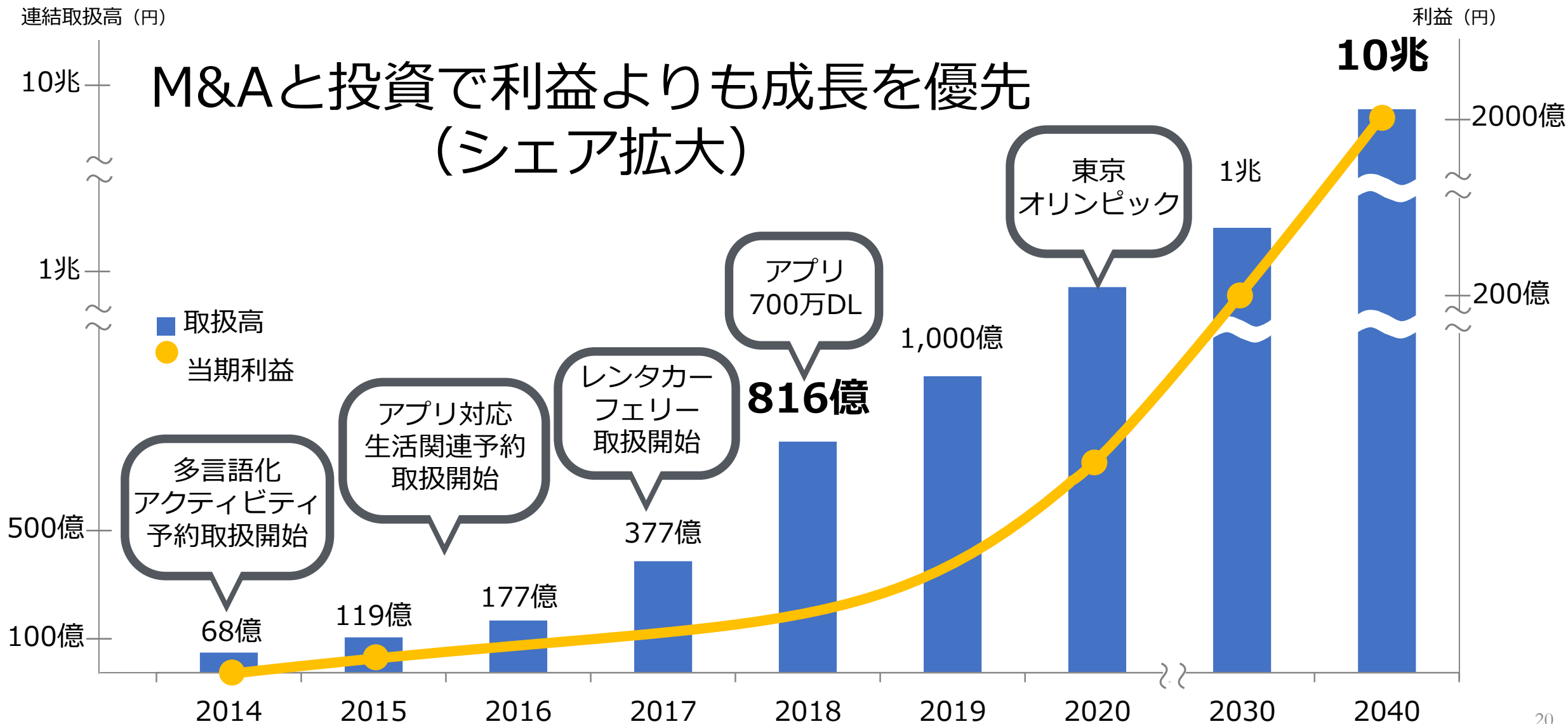
今期業績は現時点において非開示

増収増益を目標とする

6. 業績予想

ADVENTURE

② 中長期成長イメージ



※2018からIFRS基準で表示

7. 会社概要

ADVENTURE

① 会社情報

社名	株式会社アドベンチャー (英文社名 Adventure, Inc.)
設立	2006年12月21日
資本金	5億5,718万200円 (2018年12月31日現在)
代表者	代表取締役社長 中村 俊一
所在地	東京都渋谷区恵比寿4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー24F
事業内容	コンシューマ事業（航空券等販売サイト「skyticket」の運営）、投資事業
関連会社	旅行系4社、その他7社

アジア圏の企業で唯一
「skyscanner Traveller Trust Awards 2018」を受賞



「日本テクノロジーFast50」受賞

50 | Technology **Fast 50**
2018 Japan **WINNER**
Deloitte.

「アジア太平洋地域 テクノロジー Fast500」受賞

500 | Technology **Fast 500**
2018 APAC **WINNER**
Deloitte.

7. 会社概要

② 役員一覧

役 職	氏 名	略 歴
代表取締役社長	中村 俊一	慶応義塾大学卒、大学在学中の2004年に起業（IT関連企業）、2006年からOTAとして旅行事業に参入
取締役	中島 照	Western Illinois University卒、KLab(株)等を経て、2013年に当社入社
社外取締役 独立役員	宇都宮 純子	東京大学、Columbia Law School卒、宇都宮・清水・陽来法律事務所共同代表、(株)ZOZO監査役、(株)ソラスト監査役
社外取締役 独立役員	三島 健	The University of New South Wales (Postgraduate)卒、イーベイ・ジャパン(株)、エクスペディアホールディングス(株)代表取締役等を経て(株)JTWeb販売部戦略統括部長
社外取締役 独立役員	雷 蕾	一橋大学大学院卒、野村証券(株)、(株)ネクソンを経てシンフロンテラ(株)代表取締役
社外常勤監査役 独立役員	児玉 尚人	横浜国立大学卒、監査法人トーマツ（現有限責任監査法人トーマツ）を経て2013年に当社監査役就任、公認会計士
社外監査役 独立役員	山川 善之	早稲田大学卒、響きパートナーズ(株)代表取締役、元(株)そーせい代表取締役副社長
社外監査役 独立役員	角田 千佳	慶応義塾大学卒、野村証券(株)、(株)サイバーエージェントを経て(株)エニタイムズ代表取締役

7. 会社概要

ADVENTURE

③ 主要グループ会社

	No.	会社名	事業内容	備考
旅行係	①	ビッグハートトラベルエージェンシー(株)	オンライン旅行業	
	②	コスミック流通産業(株)	チケット二次流通、両替事業	首都圏を中心に16店舗展開、航空会社株主優待券の仕入
	③	(株)TET	航空券の発券・仕入	JAL認可代理店
	④	ラド観光(株)	ツアーの企画・販売	全国に6拠点、2019年1月23日取得、ANA認可代理店
他	⑤	AppAge, Limited.	アプリ開発、海外マーケティング	香港拠点
	⑥	(株)スグヤク	マッサージ、歯科のオンライン予約	合併会社 (51%)
	⑦	コスミックGCシステム(株)	ギフト券販売	東京、神奈川に3店舗
	⑧	(株)wundou	スポーツウェアの企画・販売	
	⑨	(株)ギャラリーレア	ブランド商品の二次流通	大阪を中心に11店舗 (シンガポール・香港に法人あり)、持株81%

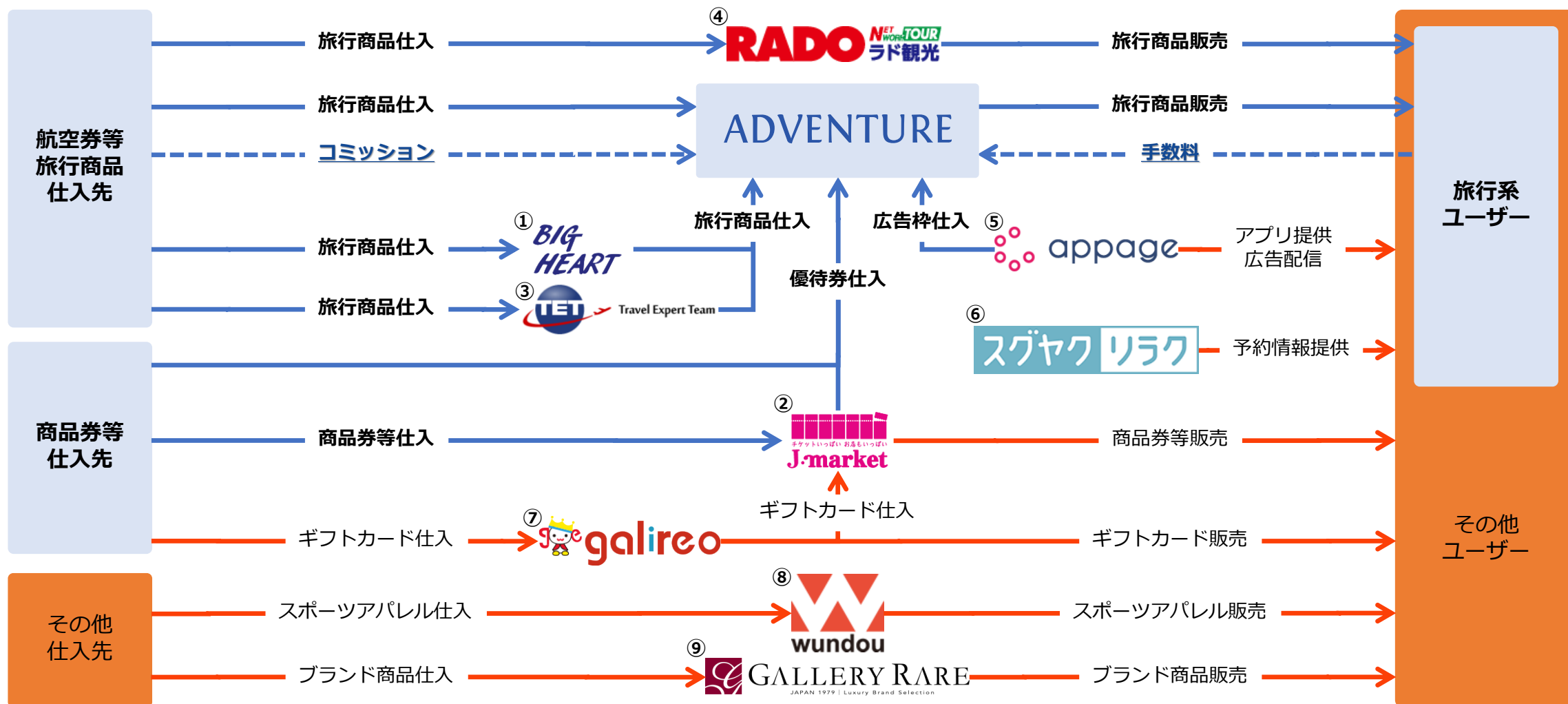
※グループ全体で30店舗を運営
 ※2019/1/16に(株)EDISTを設立

7. 会社概要

ADVENTURE

④ ビジネスモデル

→ 旅行系ビジネス
→ その他ビジネス



8. 参考情報

① 日本における旅行市場

2017年日本国内旅行市場規模

・ 日本国内旅行消費額25.5兆円 > EC関連旅行取引3.3兆円

・ 国内航空券市場1.4兆円 > 当社国内線取扱高346億円

※当社国内航空券取扱高シェア

2017年6月期…346億円 (2.4%)

2018年6月期…595億円 (4.3%)



※1 「旅行・観光消費動向調査」(観光庁)

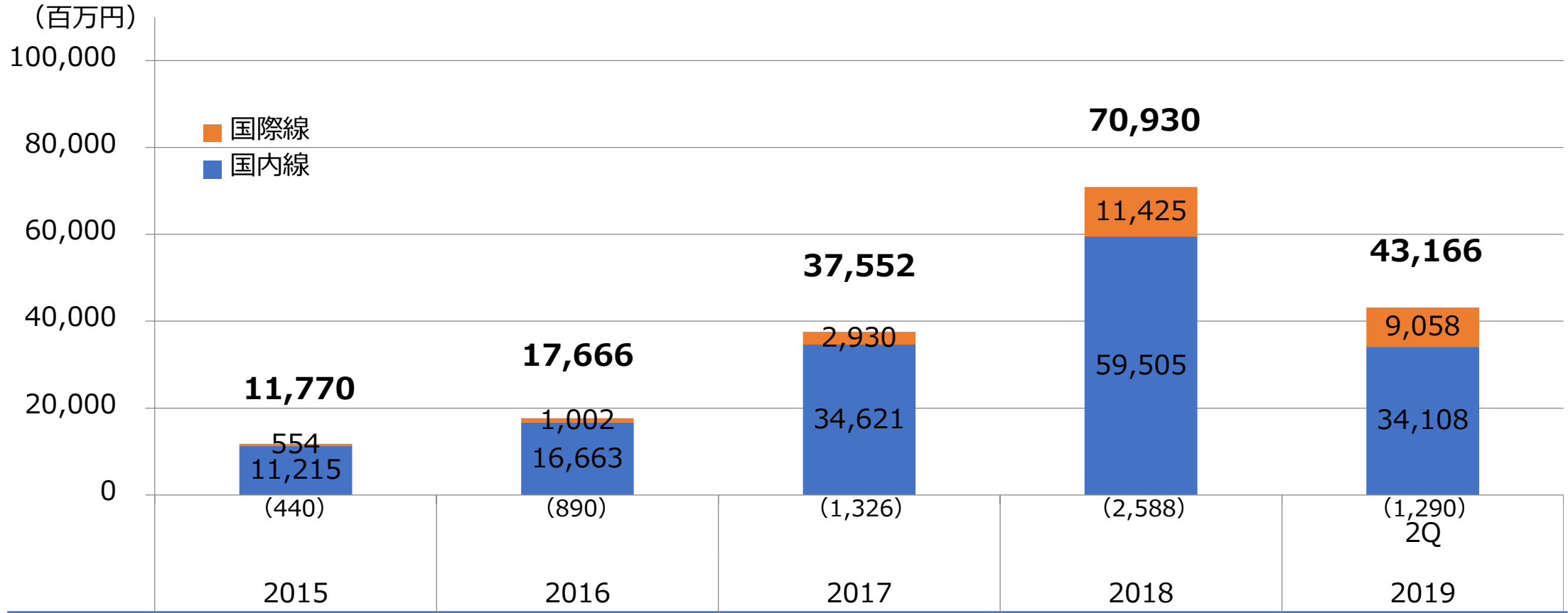
※2 「電子取引に関する市場調査」(経済産業省)

※3 「特定本邦航空運送事業者に係る情報(旅客収入)」(国土交通省)、
「特定本邦航空運送事業者以外の事業者に係る情報(旅客収入)」(国土交通省)
「有価証券報告書」各社から推計

8. 参考情報

② skyticket関連データ_航空券

航空券取扱高推移



※手数料収入：国内線14%、国際線4%

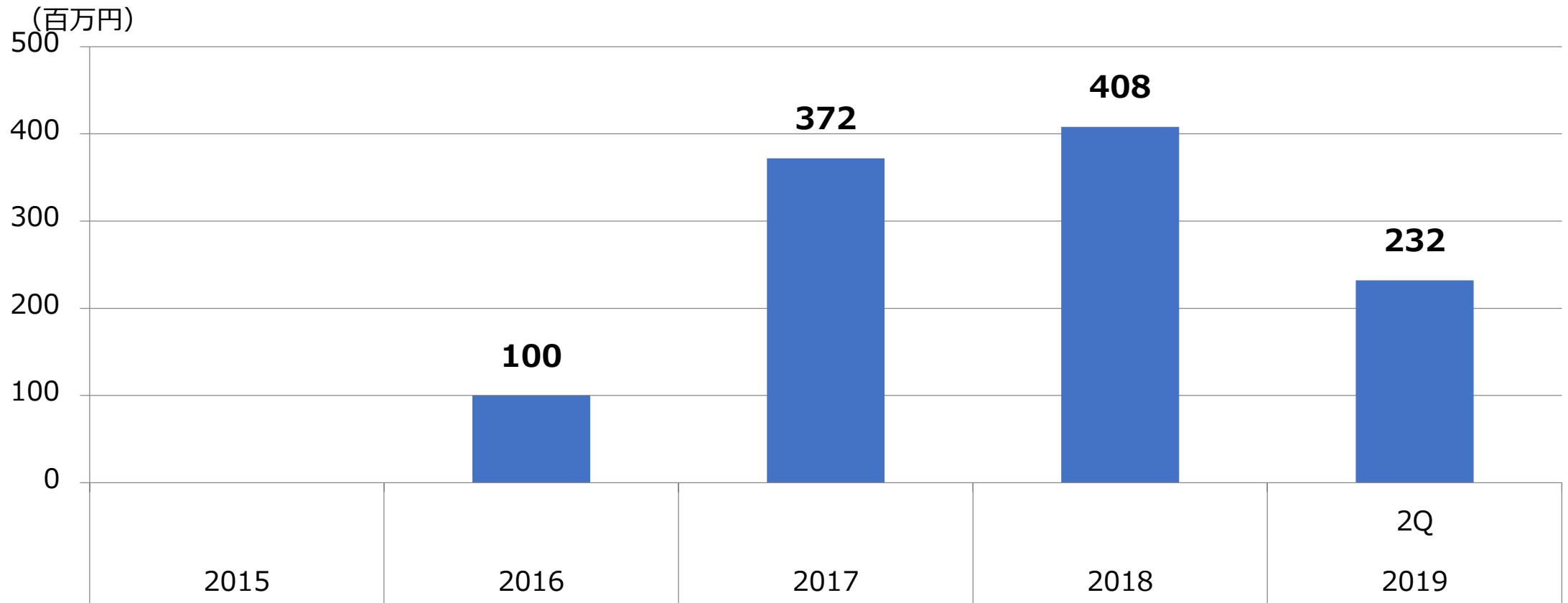
※（ ）は卸の取扱高

・半期で前期比約61%を達成

8. 参考情報

③ skyticket関連データ_ホテル

ホテル流通額推移



※手数料収入：7%

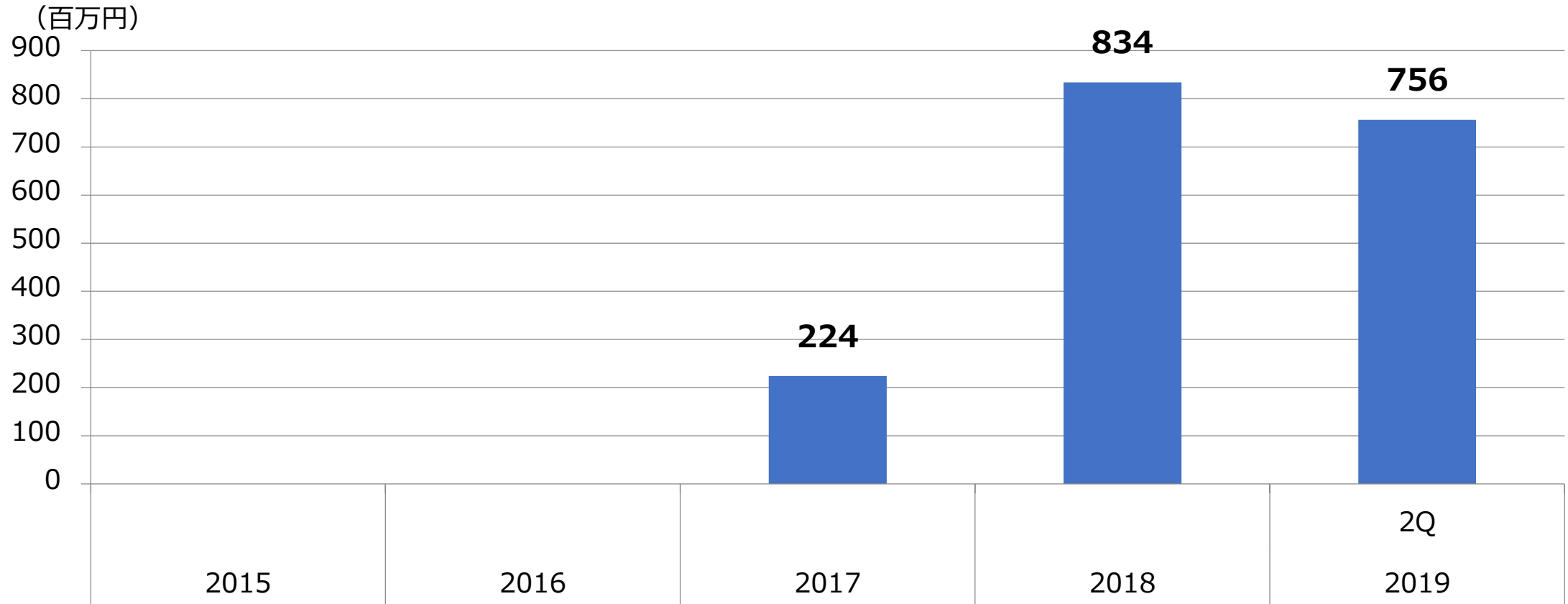
※1ユーロ=120円で算出

・半期で前期比約57%を達成

8. 参考情報

④ skyticket関連データ_レンタカー

レンタカー流通額推移



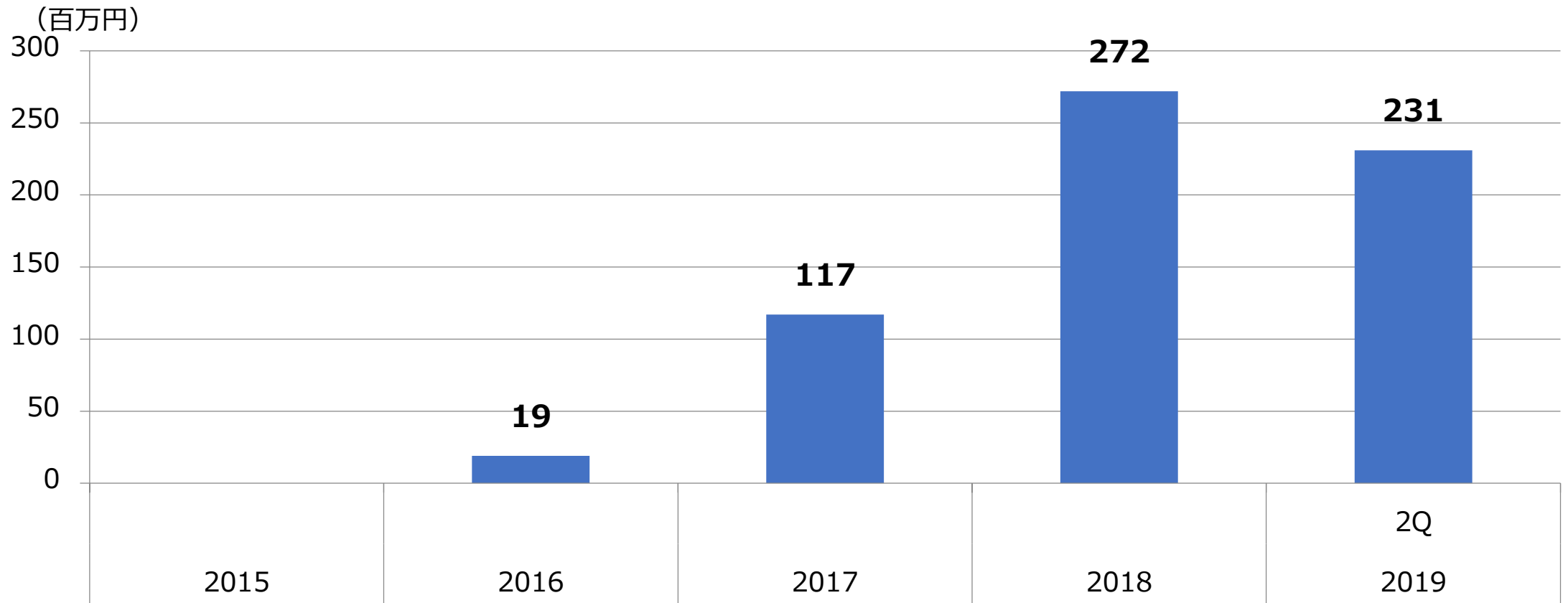
※手数料収入：10%

・半期で前期比約91%を達成

8. 参考情報

⑤ skyticket関連データ_旅行保険

旅行保険流通額推移



※手数料収入：18.5～40%（累計契約額による）

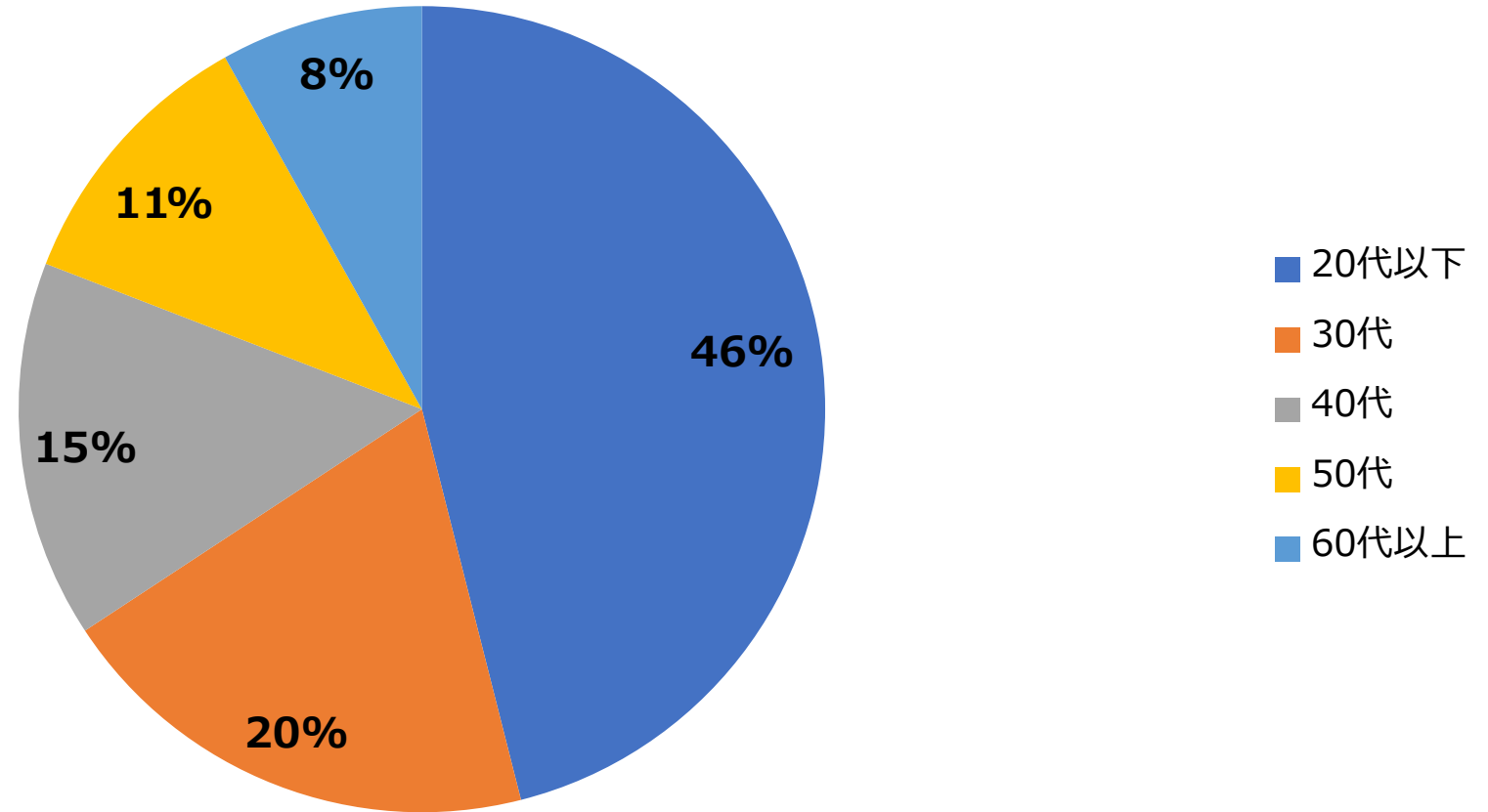
※キャンセル前数値を表示

・半期で前期比約85%を達成

8. 参考情報

⑥ skyticket関連データ_ユーザー1

年齢別航空券申込件数比率



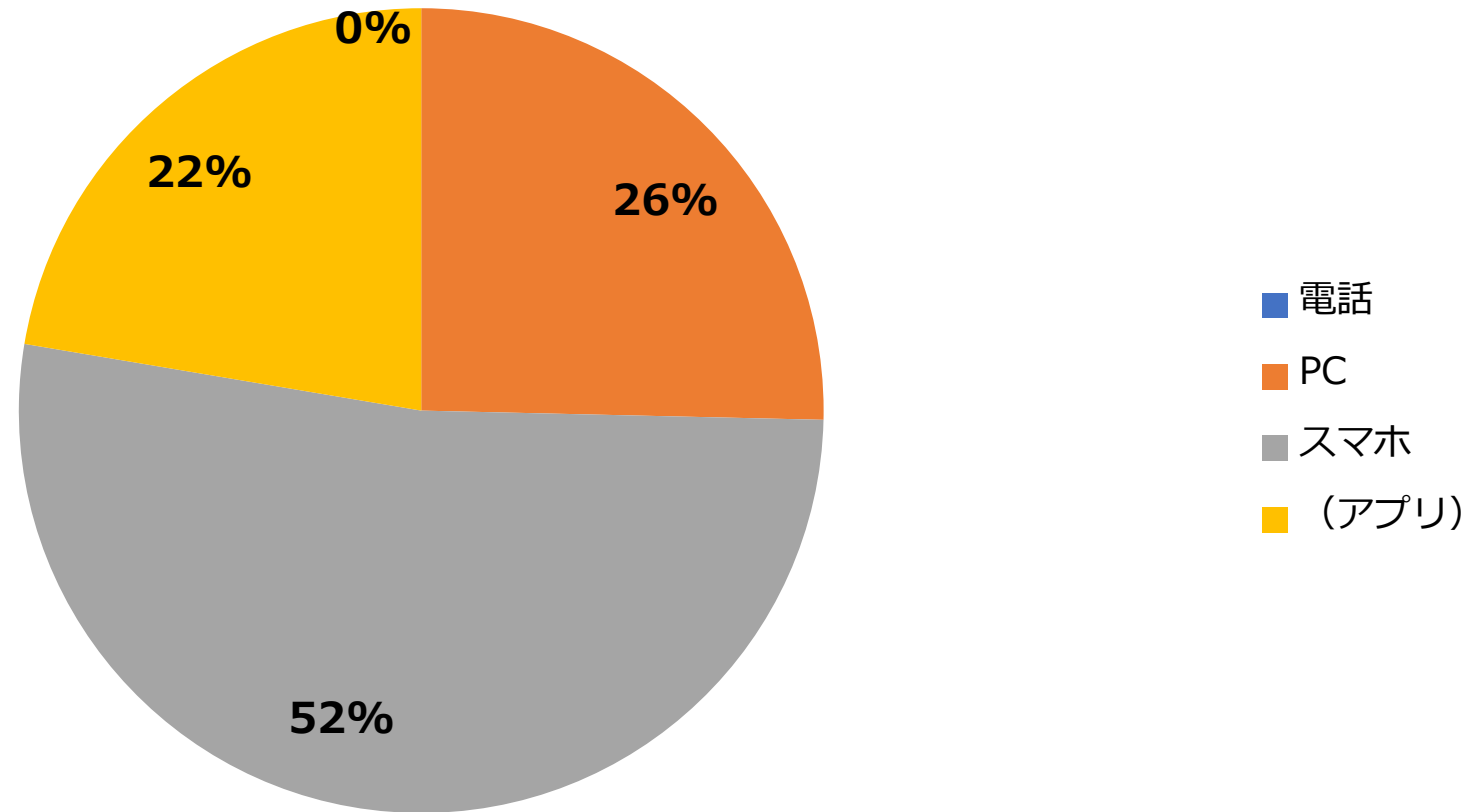
※今期2Q累計の申込数から算出

・ユーザーの66%が30代以下

8. 参考情報

⑦ skyticket関連データ_ユーザー2

申込手段別件数比率



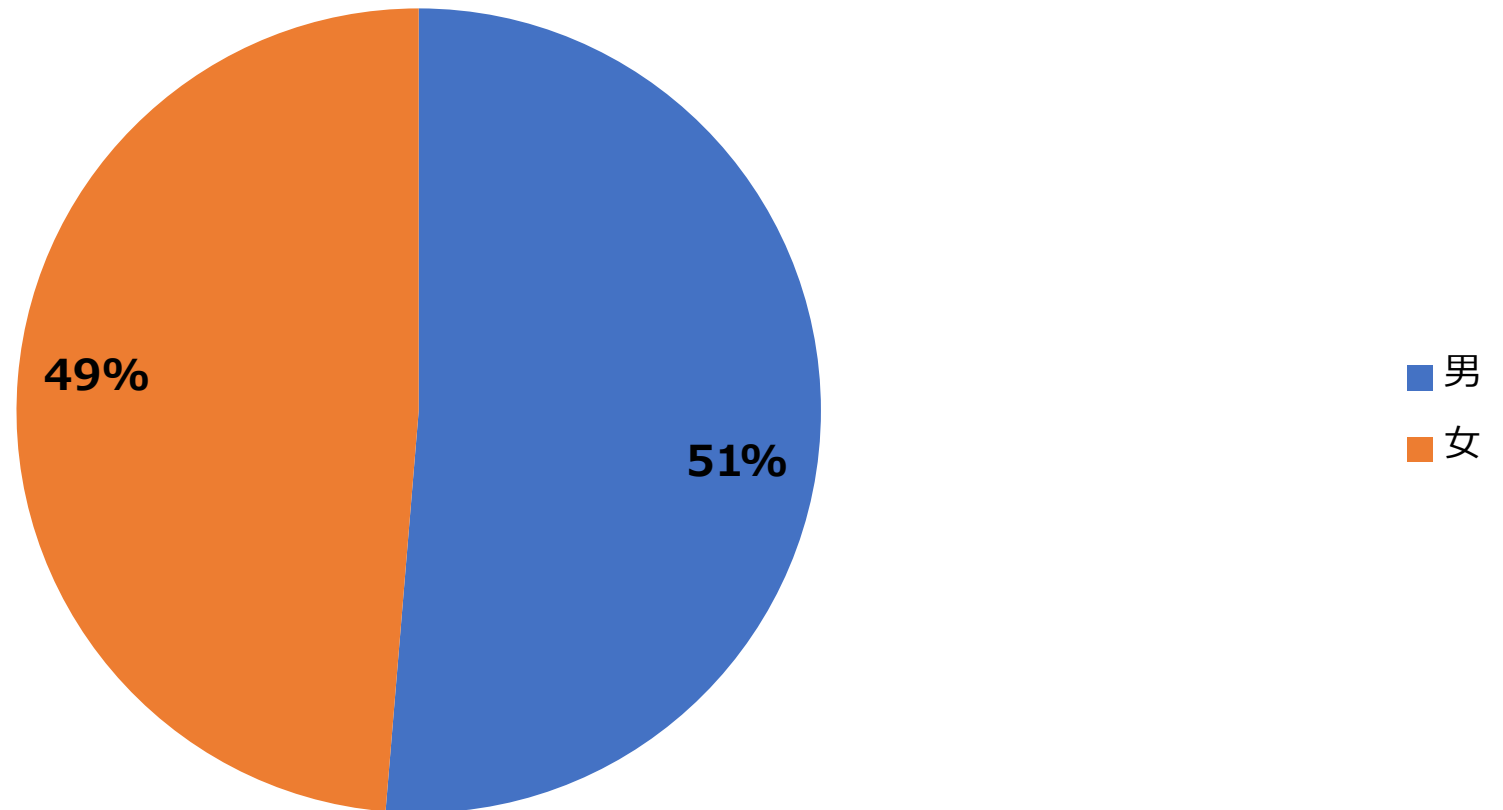
※今期2Q累計の申込数から算出

・スマホユーザーが全体の74%（スマホ+アプリ）、スマホユーザーの30%（全体22%）はアプリを經由で申込

8. 参考情報

⑧ skyticket関連データ_ユーザー3

航空券申込件数男女比率



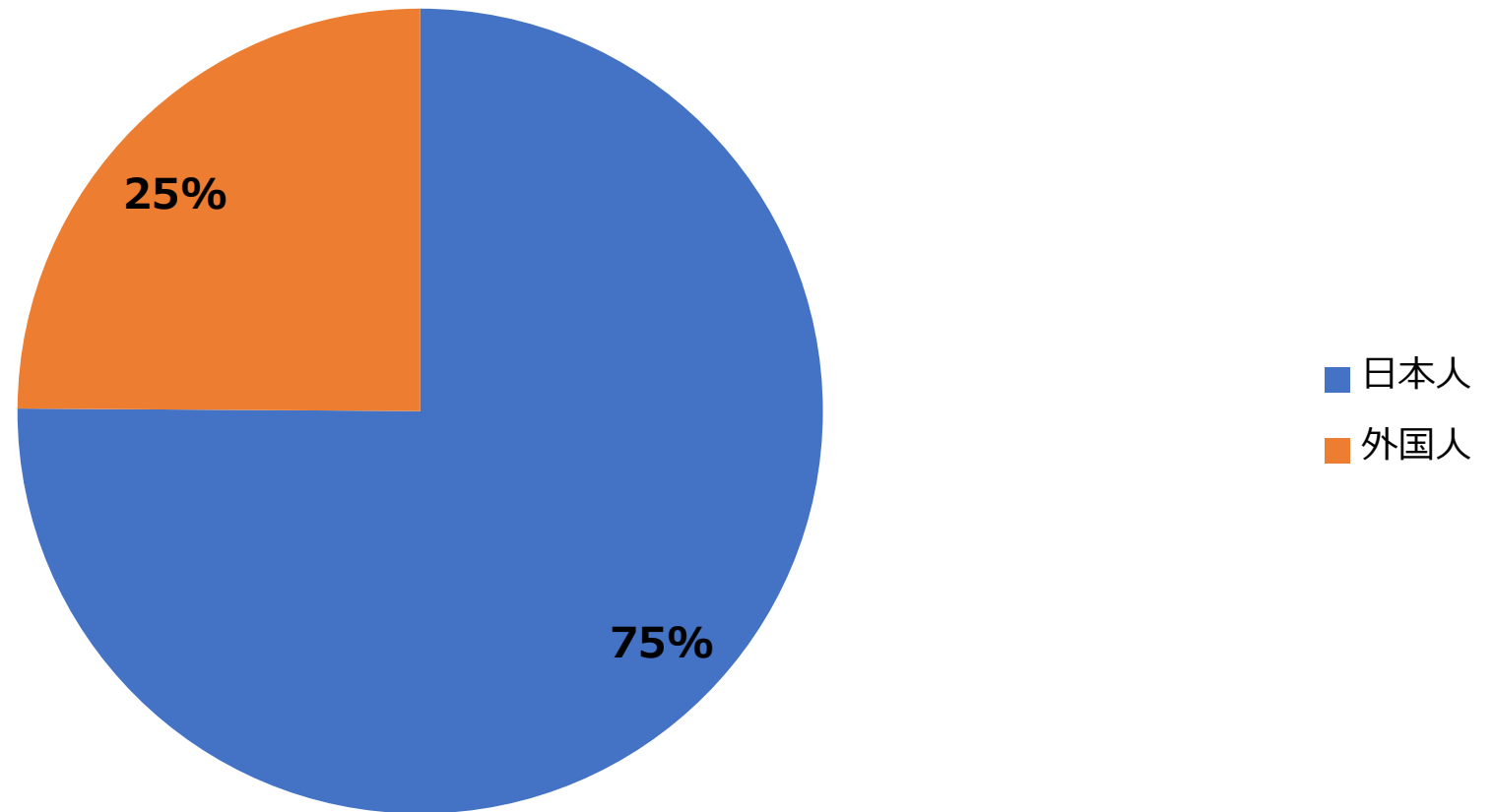
※今期2Q累計の申込数から算出

・男女の比率はほぼ1:1で偏りはない

8. 参考情報

⑨ skyticket関連データ_ユーザー4

国際線外国人申込比率



※今期2Q累計の申込数から算出

- ・ 国際線申込者の25%が外国籍、韓国、中国等のアジア圏を中心に100カ国以上からの申込あり

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合でも、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。